

令和5年12月議会報告

いつまでも

健康で暮らせる街

鴻巣

鴻巣市議会議員

藤村たかし



会派：新未来こうのす

所属：議会運営委員、市民環境常任委員

令和5年12月定例会 会期日程

- 11/28 代表者会議、全員協議会
- 12/1 行政委員に対する質問、議案に対する質疑、討論、採決
- 12/5 文教福祉常任委員会
まちづくり常任委員会
- 12/6 政策総務常任委員会
市民環境常任委員会
- 12/8 一般質問
- 12/11 一般質問
- 12/13 一般質問
- 12/14 一般質問、議会運営委員会
- 12/18 委員長報告、質疑、討論、採決

ごあいさつ

寒い日が続いておりますが、皆様ご壮健のことと存じます。鴻巣市議会12月定例会が11月28日から21日間の日程で行われ、今年度一般会計補正予算等が承認されました。10月には、新未来こうのすの会派での視察や市民環境常任委員会としての視察を経験しました。視察先の素晴らしい取組など、今後の鴻巣市にとって参考になることがたくさんありました。これからも素晴らしい取組をされている自治体を視察して、鴻巣市が今以上に住みやすく、活力あふれるまちになるため努めてまいります。

討議資料

令和5年度一般会計補正予算（1,716,202千円）賛成多数で可決しました。

- ・ デマンド交通運行補助金
- ・ 地域防犯体制支援事業
- ・ 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金
- ・ 新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金
- ・ エコな住環境づくり事業
- ・ 農地活用推進事業費補助金
- ・ こうのす空・花クーポン2024事業
- ・ 小学校施設改修事業
- ・ 公の施設の指定管理者（各放課後児童クラブ等々）
- ・ 農作物災害緊急対策事業
- ・ その他
- ・ 小谷小について：箕田小・赤見台第2小・吹上小への再編のため、令和7年3月31日閉校

〒369-0123

藤村たかし後援会

鴻巣市榎戸1-4-21 TEL048-548-0001 携帯電話：090-8581-6007



視察・研修報告



令和5年10月11日～13日（青森県三沢市・岩手県花巻市）新未来こうのす（会派）として視察
三沢市では、経済活性化を図るため、新規起業家に対して経費の一部を補助する事業について
花巻市では、空き家等対策として空家等解体活用補助金や老朽危険住宅除去費補助金について
令和5年10月12日 全国都市問題会議（青森県八戸市）



文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展についての講演会でした。

令和5年10月24日～26日（福井県越前市・大野市・福井市）市民環境常任委員として視察
越前市では、コウノトリの特徴や暮らし方、コウノトリに対しての取組や歴史について

大野市では、道の駅越前おおの荒島の郷を見学、今後鴻巣市でも道の駅を整備する上での参考とするため。

福井市では、ご遺族が亡くなったときに手続きが一か所のできる、ご遺族サポートコーナーについて

一般質問

質問項目1 市長政策行政（1）コウノトリによる地方創生と地域活性化について

ア コウノトリを象徴とする経済活性化のための取組について

イ コウノトリと自然が共存する持続可能なまちづくりについて



ア：ステークホルダーとの連携体制の現状と今後、農業や観光等々への経済活性化については

アの答弁内容 コウノトリ伝説米はJ A さいたま鴻巣特別栽培米と連携、また、学校との連携では小学校のカリキュラムに野生復帰センターの見学が組み込まれているなど、各関係機関と連携しています。

イ：エサとなる魚等の生息確認数で、令和2年では50種類、令和8年の目標値では56種類、その差6種類の生物とは、

イの答弁内容 生き物調査を小谷地区の夏と冬の2回実施したのを、令和3年度から市内全域で、さらに年間を通じて調査しましたら58種が確認できました。令和4年度では77種の生き物が確認され、生き物が年々増えていることから、生き物にやさしい環境が進んでいると考えます。

質問項目1 市長政策行政（2）シティプロモーションの推進について

ア 地域分析による魅力あるまちづくりについて

イ 戦略立案としての情報発信について

ウ 産官学等の連携や市民参加について



ア：地域分析による魅力あるまちづくりについて

アの答弁内容 資源の有効活用としては、子育てや教育などの様々な分野で活用していくこととしています。ふるさと納税では、新たな商品開発により魅力的な返礼品を拡充して、寄附受入のさらなる拡大を図ります。コンセプトの設定では、若者が持つ本市の魅力を集約・分析して、効果的なシティプロモーション活動を推進します。

イ：情報発信は、どのようなメディアを利用しているのか



イの答弁内容 広報誌、ホームページ、SNS デジタルサイネージ等の様々な媒体を活用しています。

市民主体による情報発信については、KONOSTagram 観光大使やIKOKA アンバサダーにより、インスタグラムを活用した情報発信をしています。

ウ：企業からの協賛などによる資金調達の方法、情報共有の場でどのようなイノベーションが生まれたか

ウの答弁内容 市内の高校の生徒等と連携して鴻巣駅・吹上駅にフラワーデザインアートの設置や女子栄養大学の学生との協働により、にぎわい交流館「にこのす」での新メニューの提案などを実施しています。

その他の質問 コウノトリを市指定の鳥に：制定する意義や選定の方法、時期などを総合的に検討します。